

登録コード	TSJ71500	開講年度	2026				
授業科目	コンピュータアーキテクチャ演習					担当教員	佐藤 真平
英文授業名	Exercise in Advanced Computer Architecture I					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	情報数理・融合システム分野修士1年生
講義室				授業形態	演習	備考	佐藤（真）研究室に所属する学生
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【研究科共通】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				社会基盤としてのコンピュータシステムについて理解を深める		
	【研究科共通】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力				コンピュータシステムについての専門知識を習得する		
	【研究科共通】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				コンピュータシステムについての最先端の情報収集、報告技術を習得する		
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				コンピュータシステムについての実験を通して、データの検証技術を習得する		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				社会基盤としてのコンピュータシステムについて理解を深める		
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				コンピュータシステムについての専門知識を習得する		
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				コンピュータシステムについての最先端の情報収集、報告技術を習得する		
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				コンピュータシステムについての実験を通して、データの検証技術を習得する		
(2)授業の概要	コンピュータシステム分野における、主要技術や専門家として必要な知識など、新しいコンピュータシステムを考案するための専門的な内容を学ぶ。						
(3)授業計画	具体的な週単位の計画はないが、上記内容についてゼミナール形式の授業を定期的実施する。						
(4)成績評価の方法	演習中の調査報告、ディスカッション、などの内容にもとづいて評価する。						
(5)成績評価の基準	新しいコンピュータシステムを考案するために必要な知識の理解度によって評価する。 調査した論文などについて、背景や問題など正しく理解し、説明できていれば「合格水準にある」 課題を自ら発見し新しいコンピュータシステムの考案に取りかかれば「やや上にある」 新しいコンピュータシステムを考案し学外発表ができる成果を達成していれば「かなり上にある」 新しいコンピュータシステムを考案し英文論文誌に採録される内容を達成していれば「卓越している」						
(6)事前事後学習の内容	調査報告やディスカッションにあたり、それに必要な基礎的な知識を各自で学習すること。						
(7)履修上の注意	本授業を理解するには、コンピュータの構成や論理回路に関する基礎知識が必要である。						
(8)質問,相談への対応	調査報告やディスカッションの場で対応する。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						